

ガザ地区における停戦と人道支援を求める決議

2023年10月7日、ハマス等武装勢力は、パレスチナ自治区ガザ地区からイスラエル領内に越境攻撃を行い、罪のない一般市民にまで多大な被害が発生した。さらに、一般市民を含む多数の方が誘拐され、いまだ多くの人質が解放されないまま、「人間の盾」や交渉の道具として利用されている。

これに対し、イスラエルは、ガザ地区への空爆、地上侵攻や電力、燃料、物資等を封鎖し、ガザ地区全土での地上作戦を展開しているため、多くの子どもも犠牲となるなど、深刻な人道危機が発生している。

こうした事態を受け、国連総会は、10月27日の緊急特別会合で、人道的な休戦等を求める決議を採択し、国際社会の意思を示した。また、安全保障理事会では、国連総会の決議を受け、11月15日に人道目的の戦闘の休止等を求める決議を採択し、11月末に一時的な戦闘休止が実現したが、12月1日から戦闘は再開となった。

そのため、国連総会は、12月12日の緊急特別会合で、人道目的の即時停戦等を求める決議を採択し、安全保障理事会では、人道支援の拡大等を求める決議を12月22日に採択した。

また、国連の国際司法裁判所は、2024年1月、イスラエルに対し、ガザ地区でのジェノサイド（集団虐殺）を扇動する行為の防止と扇動の処罰、必要な人道支援等を命じたが、現在もガザ地区での人道危機は継続している。

本市では、人々が等しく平和に暮らせる世界の実現を願い「札幌市平和都市宣言」を行っており、ガザ地区での現状は、市民の願いに反するものである。

よって、本市議会は、関係国や当事者が国連総会や安全保障理事会での決議を履行し、一刻も早く紛争を終結するよう強く求める。

以上につき、決議する。

令和6年（2024年）3月26日

札幌市議会

（提出者）民主市民連合、公明党及び日本共産党所属議員全員
並びに山口かずさ山口かずさ議員、未来さっぽろ成田祐樹議員、
大地さっぽろ脇元繁之議員及び市民ネットワーク北海道米倉みな子議員